

## 環境学習・啓発

### 1 環境学習

#### (1) 水環境学習推進事業

展示室や研修室などを活用し、環境保全の重要性、県民個々の生活スタイル、社会生活と環境との関わりなどについて考えてもらう環境体験学習を年間を通じて実施した。

また、常設展示に加えて様々な顔をもつ霞ヶ浦を紹介するための企画展示の開催に向けて調査・検討を行った。さらに、児童・生徒の水環境への興味・関心の喚起を図るために、中高校の教師を対象とした指導者養成講座を開催した。

#### ア 研修室を活用した環境体験学習の実施

・内容

水質分析、プランクトンの顕微鏡観察、魚の解剖実習等

#### イ 企画展示開催の検討

・テーマ

「水と霞ヶ浦流域の人々の暮らし変遷」

・コンセプト

多くの来館者の誘致

霞ヶ浦環境科学センター独自の展示

水に関連する生活用具や食文化等の展示

・1ヶ月程度開催

#### ウ 指導者養成講座(SPP事業)の開催

・主催:茨城県教育庁高校教育課

・共催:霞ヶ浦環境科学センター

・期 日:平成17年8月4日～5日

・参加者:中高校教諭14名

・内容

環境学習についての講演・講義、生物調査実習、水質分析実習

#### 研修室での環境体験学習の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学校	-	3	7	11	13	6	9	8	3	-	5	2	67
	-	112	286	585	519	409	328	344	142	-	148	77	2950
中学校	-	-	1	1	2	1	-	3	1	-	1	-	10
	-	-	161	24	14	32	-	42	29	-	7	-	309
高等学校	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	3
	-	-	-	51	-	-	-	-	36	44	-	-	131
大学	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	-	-	-	47	-	-	-	6	-	-	-	-	53
一般団体	-	-	-	-	4	4	7	5	1	-	2	-	23
	-	-	-	-	68	105	180	134	38	-	50	-	575
合計	-	3	8	14	19	11	16	17	6	1	8	2	105
	-	112	447	707	601	546	508	526	245	44	205	77	4018

上段の数字(太字)は団体数,下段は人数

## (2) 霞ヶ浦環境学習等推進事業

霞ヶ浦の水質浄化には、地域住民の協力と自主的浄化活動が不可欠であるため、県民を対象にした広報啓発事業の一環として霞ヶ浦自然観察会、霞ヶ浦野外講座、霞ヶ浦ミニ講座、霞ヶ浦写生会を実施した。

## ア 霞ヶ浦自然観察会

霞ヶ浦の自然生態の観察・探索を通じて学習することにより、水に対する親しみを養い、霞ヶ浦への理解と水質浄化の必要性の再認識を図るため次のとおり実施した。

テーマ	開催日	講師	実施場所	参加者
湖岸周辺の昆虫 夏の昆虫観察	平成17年 7月23日(土)	廣瀬 誠氏 (環境アドバイザー)	霞ヶ浦湖岸周辺	42名
秋の昆虫観察	10月22日(土)	小菅 次男氏 (環境アドバイザー)	霞ヶ浦湖岸周辺	27名
湖岸周辺の植物 夏の植物観察	8月23日(火)	棚谷 満広氏 (鹿行生物の会役員)	霞ヶ浦環境科学 センター敷地内	28名
雑木林の生物観察	9月10日(土)	秋山 昌範氏 (環境カウンセラー)	かすみがうら市 歩崎森林公園	20名
霞ヶ浦のプランクトンと魚の観察	10月 1日(土)	内水面水産試験場 富永 敦氏 (主任研究員) 半澤 浩美氏 (技師)	霞ヶ浦湖岸周辺 センター研修室	32名
冬の野鳥観察	平成18年 1月28日(土)	山口 萬壽美氏 (環境アドバイザー)	石岡市高浜 霞ヶ浦湖岸	23名
霞ヶ浦の水質分析	2月 4日(土)	霞ヶ浦環境科学センター 企画交流課職員	センター研修室	27名



夏の昆虫観察



雑木林の生物観察

## イ 霞ヶ浦野外講座

霞ヶ浦と周辺地域の自然と文化について、現地で観察や見学をし、霞ヶ浦への関心を高め、併せて霞ヶ浦の水質浄化意識の高揚をはかる為に実施した。

開催日	テーマ	実施場所	参加者
平成17年 7月13日	夏の西浦湖岸の植物と魚の観察	玉造町浜・高須	13名
7月28日	夏の北浦湖岸の植物と魚の観察	鉾田町安塚	13名
8月10日	外浪逆浦湖岸の植物と魚の観察	潮来市福島トンボ公園	23名
8月25日	西浦湖岸の植物と魚の観察	土浦市大岩田	8名
9月21日	妙岐の鼻・和田岬の植物と魚の観察	桜川村浮島	10名
10月12日	秋の北浦湖岸の植物と魚の観察	鹿嶋市爪木の鼻	14名
10月26日	高浜入り湖岸の植物と魚の観察	石岡市高浜	14名
11月 9日	常陸川の歴史・水門見学と生物の観察	神栖歴史館・常陸川水門	24名
12月 7日	ビオパーク見学と霞ヶ浦の歴史学習	土浦港・上高津貝塚	19名
平成18年 1月11日	照葉樹林と茨大広域水圏センター見学	潮来市大生	28名
2月 8日	常緑植物の観察と湖岸の歴史	かすみがうら市歩崎	25名



湖岸沿いで植物の観察



霞ヶ浦の魚の観察

#### ウ 霞ヶ浦ミニ講座

地域住民、自治体、教育関係機関からの要請により、学校や公民館、水辺の学習場所などに講師を派遣し、開催する講座。

期 日	申請団体等	テ ー マ	参加者
平成17年			
6月24日	玉里村立玉里中学校	霞ヶ浦成立、水草、魚類相の変化等について	46名
6月24日	北浦レスキュー隊	霞ヶ浦の成立、北浦の魚について	30名
7月 9日	エコ・カレッジ	環境センター周辺の自然観察 魚	20名
7月16日	エコ・カレッジ	環境センター周辺の自然観察 魚	20名
9月 9日	涸沼流域河川環境調査事業	魚をとおして、涸沼は今、どういう環境なのか。	22名
9月30日	潮来市立潮来第二中学校	北浦の魚について	7名
10月15日	水戸市立酒門小学校	魚の解剖	20名
11月15日	稲敷市立あずま東小学校	霞ヶ浦の生物と水(水質・魚・植物)	6名
11月24日	城里町立七会西小学校	魚の解剖	20名
12月14日	土浦市立上大津東小学校	霞ヶ浦の魚について	24名
12月20日	東京コミュニケーションアート専門学校	霞ヶ浦の魚について	4名

平成18年 2月10日	茨城県フェンス防護柵工 業会	霞ヶ浦の歴史と魚の関係について	36名
3月 4日	神立コミュニティセン ター	霞ヶ浦の水産・魚たち	8名
合 計			263名



### エ 霞ヶ浦写生会

絵画の題名を『私の霞ヶ浦』と決め霞ヶ浦に親しんでもらい、霞ヶ浦への理解と水環境の保全や水質浄化の必要性の意識の向上を図るため開催した。

なお、提出作品41点中小中学生(小学20点、中学5点)については行方市開発公社が主催する「第11回霞ヶ浦絵画コンクール」の参加作品とした。また他の作品については、塚原明義先生審査のうえ3点を選出しセンター長賞として表彰した。(表彰式：平成17年10月23日)

テ ー マ	開 催 日	講 師	実 施 場 所	参 加 者
私の霞ヶ浦	5月29日(日)	塚原 明義氏 日本美術家連盟会員	環境科学センター周辺	52名 内作品提出 41点



### (3) その他

#### ア 霞ヶ浦入門講座

多くの県民に霞ヶ浦に関心を持ってもらい、考え、行動してもらうためには、霞ヶ浦の水利用、生き物はもとより歴史や文化など、その全体像を知ることが重要と考え、講座を開催した。

開催日	テーマ	講師名等	参加者
平成17年10月29日(土)	霞ヶ浦再生へ - 生き物を守れ -	春日清一氏	51名
11月19日(土)	水質分析をやってみよう	センター職員	13名
26日(土)	湖沼流域生命系と微生物	高村義親氏	67名
12月11日(日)	霞ヶ浦の風景を守ろう	山本正三氏	70名
平成18年 2月19日(日)	常陸川水門他現地特別講座	霞ヶ浦河川事務所職員等	30名
3月12日(日)	環境と調和する農業	佐藤洋平氏	62名



高村先生の講演



センター職員の指導のもとに水質分析

## 2 環境啓発

### (1) 霞ヶ浦水質浄化強調月間事業

水に親しむ機会が多い夏季の期間(7月18日(海の日)から9月1日(霞ヶ浦の日))を「霞ヶ浦水質浄化強調月間」と定め、センター夏まつりの開催、水質浄化標語・ポスター・ジュニアレポートの募集・表彰、記念講演会、霞ヶ浦の日水質浄化キャンペーンの実施などの啓発事業を重点的に実施した。

#### ア 霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2005の開催

期日	内容	参加者数
7月24日	テント出展、研究室の一般公開、ペーパークラフト教室等	1,600名
8月20日	水質浄化標語表彰式、テント出展、ステージイベント等	7,500名
8月21日	湖畔を歩く会、研究室の一般公開等	500名
計		9,600名



環境保全関係団体によるテント出展



研究室の一般公開



- イ 強調月間ポスター・懸垂(横断)幕の作成・掲示  
ポスター 1,500枚 懸垂幕等12枚(10カ所)
- ウ 水質浄化標語・ポスター・ジュニアレポート募集

区 分	応募数	入賞数	表彰式
標語	9,028点	50点	8月20日
ポスター	1,468点	75点	12月17日
ジュニアレポート	276点	16点	12月17日



水質浄化ポスター表彰式



水質浄化ポスター最優秀作品  
(小学校低学年部門)

(2) 霞ヶ浦水質浄化ふれあい事業

霞ヶ浦を湖上から観察することにより、霞ヶ浦の現状について認識してもらうとともに、霞ヶ浦の水環境にやさしいライフスタイルの確立や水質浄化のための実践活動を促し、定着を図るため「霞ヶ浦湖上実践セミナー」を開催した。

また、「霞ヶ浦水辺ふれあい事業」では、市民参加による実践型の浄化啓発事業として、霞ヶ浦湖畔における水生植物やさかなとのふれあい、人と人との交流を通して、霞ヶ浦を知ることにより、流域住民の水質浄化に対する意識の向上を図った。

ア 湖上実践セミナー

- ・期間 平成17年6月30日～11月30日
- ・回数 51回
- ・参加者 1,426名
- ・内容 湖上教室、霞ヶ浦環境科学センターでの水質検査、討論会

イ 霞ヶ浦水辺ふれあい事業 主要行事一覧

期 日	区 分	内 容	開催場所・参加者
平成17年 7月18日	さかなとのふれあい	・キャスティングゲーム ・釣りゲーム ・子供釣り堀	国民宿舎「水郷」前 参加者 433名
8月27日	人と人とのふれあい 及び水生植物とのふれあい	・湖上体験 ・水質検査(COD) ・水辺の植物観察	土浦港及び霞ヶ浦環境科学センター 参加者 79名

平成18年 2月 5日	人と人とのふれあい	・ウェットランド見学と水辺観察 ・霞ヶ浦の食材を使った食事と生活排水対策の実習	霞ヶ浦環境科学センター及び川尻川ウェットランド 参加者 72名
2月26日	人と人とのふれあい	・湖岸清掃(約3.7トンのゴミを収集)	土浦新港及び霞ヶ浦周辺 参加者 265名

### (3) 霞ヶ浦「百万人の湖(ミリオンズレイク)」推進事業

#### ア 流域連携促進事業

霞ヶ浦に流入する河川の上流から下流までお互いに連携して、水質浄化に取り組めるよう住民と行政等が一体となった浄化運動に、霞ヶ浦問題協議会(霞ヶ浦流域21市町村で構成)と県等が連携して取り組んだ。

#### 霞ヶ浦流入河川水質一斉調査

小中学生をはじめ家庭排水浄化推進協議会の市民団体など、住民参加による霞ヶ浦流入河川水質一斉調査(10月末を基準日)を21市町村において実施。約340の調査ポイントを延べ約420名の参加を得て行った。



#### 各探検隊活動の実施

巴川探検隊連絡会議(H13年度設立)、桜川探検隊連絡会議(H14年度設立)、恋瀬川探検隊連絡会議(H15年度設立)、小野川探検隊連絡会議(H16年度設立)が、それぞれの地域で子供から大人まで様々な世代が参加して、自然観察会や水質調査等を実施し、身近な水環境を体験した。

探検隊名	期日	内容	開催場所・参加者
巴川探検隊	平成17年 6月25日(土)	霞ヶ浦の魚と植物観察、水質調査	霞ヶ浦環境科学センターとその周辺 参加者130名
	12月3日(土)	歴史、森の樹木観察、源流の生き物	旧岩間町愛宕山 参加者127名
桜川探検隊	6月11日(土)	歴史、植物観察、水質調査、湖の役割、石割体験	旧真壁町つくし湖、薬王院周辺 参加者 148名
	7月30日(土)	昆虫観察・採集、植物観察、投網体験、微生物観察	かすみがうら市どんぐり山、霞ヶ浦環境科学センター 参加者 117名
	9月3日(土)~ 4日(日)	武器学校・水の交流館見学、理科実験、ペットボトルロケット制作	霞ヶ浦総合公園、水の交流館他 参加者 52名
	11月19日(土)	歴史探訪(博物館・旧商家・街並み・貝塚見学)	土浦市博物館、上高津貝塚他 参加者 108名

恋瀬川探検隊	7月2日(土)	植物観察、投網体験、水質検査	霞ヶ浦環境科学センターとその周辺 参加者 126名
	11月5日(土)	治山事業地見学、そば打ち体験	石岡市小幡治山事業地とその周辺 参加者 110名
小野川探検隊	11月26日(土)	植物観察、投網体験、水質検査	牛久自然観察の森と小野川 参加者 69名
	平成18年 2月18日(土)	オオヒシクイ等の野鳥、魚の観察	稲敷市稲浪干拓地 参加者 63名



桜川探検隊



小野川探検隊

#### 「霞ヶ浦環境フォーラム」の開催

県外における環境活動の先進事例を紹介し、水質浄化活動の解決のヒントを探り、パートナーシップによる実践活動の推進を図った。

- ・ 期日:平成18年3月2日(木) ・ 場所:土浦市民会館大ホール
- ・ 内容:パネルトーク、環境漫才、市民団体パネル等展示
- ・ 参加者:流域住民及び市民団体、市町村職員等 約550名が参加
- ・ 主催:茨城県霞ヶ浦環境科学センター



環境漫才



パネルトーク

#### イ 水質浄化運動促進事業

霞ヶ浦問題協議会が実施する水質浄化運動に対して補助金を交付し、霞ヶ浦流域住民の水質浄化意識の高揚を図り、実践活動に結びつけた。

霞ヶ浦水質浄化啓発:「霞ヶ浦の日(9月1日)の街頭キャンペーンや産業祭等でチラシやポケットティッシュ等を配布し、水質浄化の啓発活動に取り組んだ。



家庭排水対策の推進：家庭からの食用残廃油の回収等に取り組んだ。

実施市町村：9市町村 回収量：約9,450ℓ

霞ヶ浦清掃大作戦：8月と3月に流域内市町村で道路側溝や河川敷等の清掃を実施した。

参加人員：延べ約14,200名 ゴミ集積量：約320ト



街頭キャンペーン



霞ヶ浦清掃大作戦(3月)

#### (4) ミリオズレイク調査研究事業

##### ア 研究事業調査研究委員会の開催

センターが実施するミリオズレイク調査研究事業について、大学や行政等の有識者で構成する委員会を開催し、調査方針や手法の企画や研究成果の分析・評価を行った。

実施期日：平成18年2月3日(金)

議題：ミリオズレイク研究事業の進捗状況及び来年度計画について

##### イ ミリオズレイク研究事業の実施

霞ヶ浦流域住民の生活や文化、社会組織等の変遷を社会科学的に調査研究することにより霞ヶ浦流域の特性を体系的に把握し、水質浄化に係る効果的な実践プログラム等の策定に資する目的で調査研究を実施した。なお、調査研究業務は早稲田大学人間総合研究センターに委託した。